

## 未来そうぞう科学習指導案

場所: 6年1組教室

6年1組 寺西 克倫

1. 単元名 My Life →from now on→

2. 研究主題

## 未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

## (1) 単元について

昨年度の5年生の時に、「自分発見」の学習で、自分の長所や短所について深く考えて分析したことをきっかけに、6年生では、自分自身のよりよい未来を想像し、今できることを考えて創造できる子どもの育成を目指して、「My Life →from now on→」の単元を進めていくこととした。

1学期には、「なりたい自分を想像する」学習に取り組んだ。この学習では、身近な人の影響やこれまでの体験から将来についての夢や目標をもっていることが分かり、「お家の人に職業のことを聞きたい」「知らないことを調べたい」などの意見が出た。また、実際に職業を体験することで職業のことをより深く考えるきっかけとなったり、職業に対するイメージが変わったりするのではないかと考え、「キッザニア甲子園」への校外学習で職業を疑似体験した。そうすることで、「働く」ことへのイメージを膨らませたり、興味のなかった業種について考えたりし、自分で稼いだお金の使い道など、「働く」ことを多面的・多角的に考えるきっかけになった。

また、キッザニアや文部科学省で働く方、水不足の視点から水道の蛇口の部品を開発し、町工場から世界的な市場でビジネスを展開されている方、防災活動のNPO法人の運営をされている方など、様々な仕事に従事されている方をお招きした。学校内だけでなく、学校外の様々な人との出会いや経験が「今の自分」につながっているという共通認識から、職業を選ばれた理由やこれまでの人生についてのお話をうかがうことで、子どもたちは自らの生き方を考える手立てとしてきた。他にも、昨年度の5年生の段階から、ネジの開発で成功を収められた方や、大学でロボットを研究されている方、プロ野球で活躍された後、選手の指導にあたられている方、企業で商品の営業をされている方々などもお招きしてお話をうかがったことも踏まえて、様々な方の生き方を関連付けて考えた。すると、これまでお話をうかがった皆さんに共通していることは、「好き」なことを続けていくうちにやがて職業になったり、「興味を持った」ことが自分の職業とつながったりしていることが分かってきた。

これらの学習のまとめとして、3学期には、「過去の自分」と「今の自分」を見つめ、自分がかけがえのない存在であることを認識し、よりよい「未来の自分」の姿を想像して、これからの人生で大切にしたいことを考えていく。その具体的なものとして「My Street」を作成する。「未来の自分」のために、どのようなことが必要か、どの成長過程でどのような姿になっていたかなど、論理的に未来を想像する。しかし、現実的には、自分が考えているように人生を送ることができないこともあるので、様々な観点で「未来の自分」を想像していく。このようにして、これから中学校へはばたく子どもたちは、様々な側面を持つ自分を肯定的に捉えて自分のよさを伸ばし、未来へと突き進んでいこうとする意欲を高めることができると考える。今の自分を客観的に捉え、「これからどのような人になりたいのか」「どんな人生を歩みたいのか」という自分の人生について、見通しをもって考えられる子どもが育っていくと考える。

## (2) 単元の目標

【創造的実践力】	
・様々な人との出会いを通して、「過去の自分」と「今の自分」を肯定的に意味づけたり価値づけたりすることで、「未来の自分」の姿を描くことができる。	
【主体的実践力】	【協働的実践力】
・よりよい「未来の自分」の姿を想像するために、様々な人の生き方や考え方に触れながら、内察し続けることができる。	・自分とは違う立場や環境にいる人の見方・考え方を自分と比べたり、関連づけたりして、「今の自分」の見方・考え方を広げたり、深めたりすることができる。

## (3) 活動構成の仮説

① 様々な職業に就かれている方の話を聞いたり、自分の好きなことを認めてもらったりすることで、「自分」や周りの人を肯定的に受け入れることができる。

様々な方から話を聞くことで未来への見通しを持ったり、「なりたい自分」を想像することで、「過去の自分」と「今の自分」を見つめたりすることで、様々な側面を持つ自分がかけがえのない存在であることを認識することができる。と考える。

② ポートフォリオを用いることで、「過去の自分」や「今の自分」を客観的に見て、「未来の自分」に向けて、今できることを創造していくことができる。

「過去の自分」や「今の自分」を客観的に捉え、「未来の自分」を想像するためには、自分が考えたことをポートフォリオをもとにふりかえることが有効である。と考える。

3. 指導計画 (全25時間)



・・・必修



・・・選択

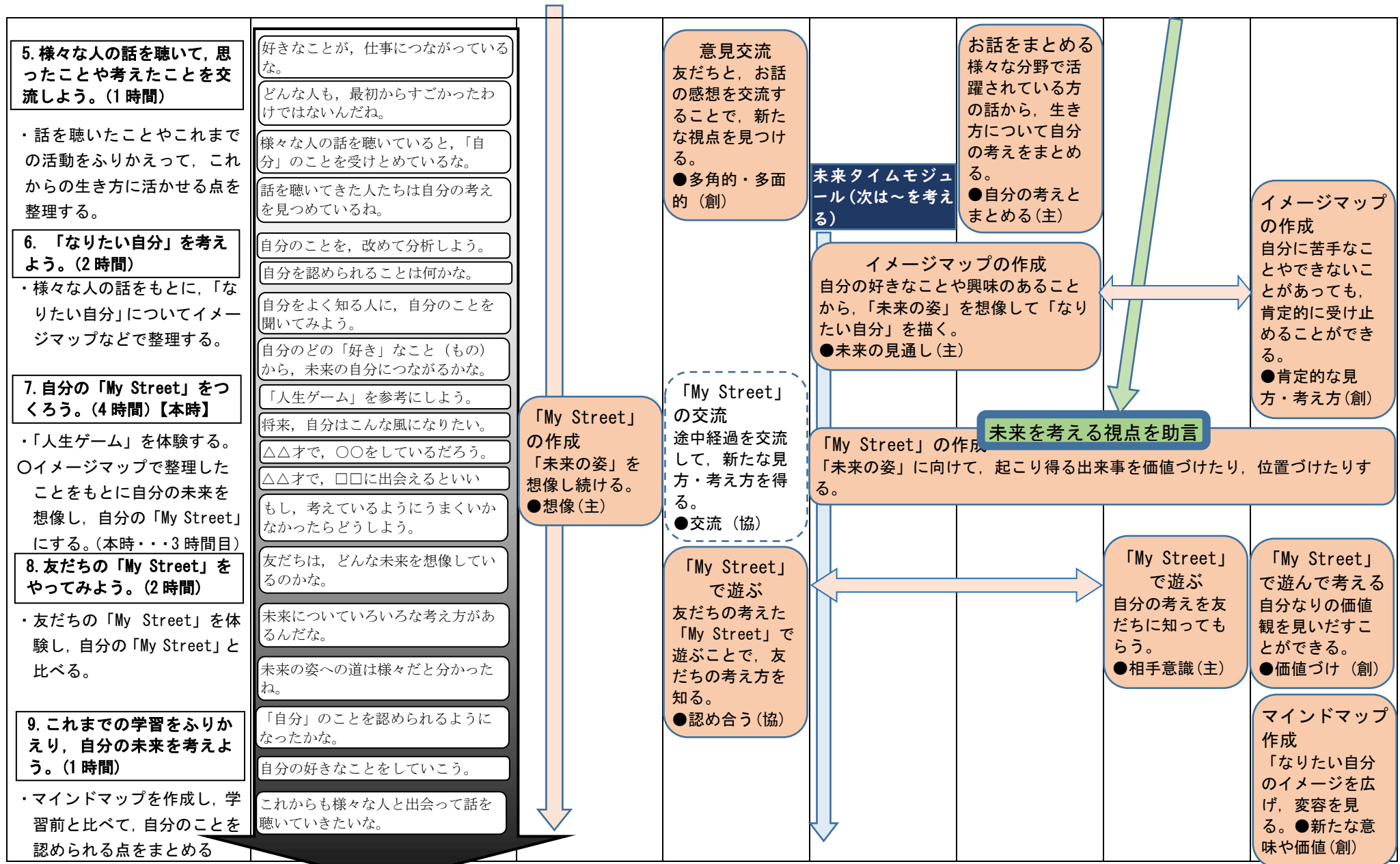


・・・毎時間



・・・教師の手立て

学習活動と問題意識	子どもの意識	評価の視点と方法					
		① 没頭	② 協力	③ 見通し	④ 整理	⑤ 発信	⑥ レジリエンス
<p><b>1. 今までの先輩を思い出して、どんな姿で卒業したいかを考える。(1時間)</b></p> <p>・これまでの5年間を振り返ったり、先輩の姿を思い出したりして、どのような卒業を迎えたいかを考える。</p>	<p>去年の先輩の姿は〇〇だったな。</p> <p>下級生の手本になりたい。</p> <p>下級生から頼りにされたい。</p> <p>これまでの先輩はかっよかったな。</p> <p>卒業するにあたって、自分の生き方を考えたい。</p>			<p>未来ノート蓄積 自分のその時の気持ちを書くことで、変容を捉える。 ●考え続ける(主)</p>			<p>個々の考えの把握</p>
<p><b>2. どのような未来を考えているかを整理する。(1時間)</b></p> <p>・自分は、どのような職業に就きたいのか、どのような人になりたいかを考える。</p>	<p>好きな職業に就きたい。</p> <p>自分が得意なことは何かな。</p> <p>人や社会のために貢献できる人になりたいな。</p> <p>働く時には、今の社会と変わっていることがあるかな。</p>	<p>未来ノート蓄積 気づきや書き残したいことを書き込む。 ●積極的、進んで調べる(主)</p>			<p>ワークシート 自分の未来に関することをまとめる。 ●イメージを広げる(主)</p>		<p>様々な視点からの助言</p>
<p><b>3. 実際に職業を体験してみよう。(7時間)</b></p> <p>・職業を体験して、感じたことや考えたことをまとめる。</p>	<p>自分の好きな仕事を体験してみると、どんな気持ちになるのかな。</p> <p>好きなことを仕事にして、給料をもらえるとうれしいな。</p> <p>実際に体験してみると、おもしろさがあるね。</p> <p>〇〇をしたけれど、体験する前とちがって、やりがいがあったな。</p>	<p>職業体験 職業を体験することで、自分の興味を知ったり確かめたりする。 ●自分事として進んで体験する(主)</p>	<p>職業体験 友だちのしたいことを体験することで、新たな見方・考え方を見つける。 ●考えを認め合う(協)</p>	<p>職業体験 職業を体験することで、「未来の姿」を想像する。 ●未来への見通し(主)</p>			
<p><b>4. いろいろな職業に就かれている方に話をうかがおう。(6時間)</b></p> <p>・様々な立場や世界でご活躍されている方をお招きして、その職業を選んだ経緯や子どもの頃のお話をうかがう。</p>	<p>働いている人は、どんな気持ちで働いているのだろうか。</p> <p>〇〇さんは、小さい頃、△△のことを考えていたんだな。</p> <p>自分は、〇〇のことが好きだから、△△の仕事に就きたいな。△△のことをもっと調べたいな。</p> <p>お家の人にも、仕事をしている様子を聞きたいな。</p>			<p>様々な分野で働く方への講演依頼</p> <p>お話を聴く 様々な分野で活躍されている方の話を、自分の未来と比べながら聴く。 ●自分の考えと比べる(主)</p>		<p>お話から考える自分とは違う考えを持つ人がいることを肯定的に受け止める ●価値観の広がり(主)</p>	



4. 「第6次 第2時」(2月4日)の目標

- 様々な人から話をうかがったことから作成したイメージマップをもとに、「今の自分」と未来の「なりたい自分」を図に整理して、「未来の自分」についての見方・考え方を広げることができる。  
(主体的実践力)

5. 「第6次 第2時」の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価 (○) 支援 (◆)
1. 今までの学習をふりかえる。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     様々な方から話を聞いて、自分の「好き」が未来の自分につながる事が分かった。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     自分の「好き」をマッピングで整理すると、自分のことがよく分かるな。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">                     「今の自分」の好きなことが、「未来の自分」とどのようにつながるのだろう。                 </div>	◆これまでの未来ノートや未来タイムの記述を共有し、本時の活動内容を焦点化する。
<b>「未来の自分」の姿を想像して、「なりたい自分」を考えよう</b>		
3. 「未来の自分」の姿を想像して、「なりたい自分」への道を整理する。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     「未来の自分」の姿を想像することはできるかな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     「未来の自分」は「今の自分」と比べると、どのようになっているのだろう。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">                     将来の夢は○○だけれど、「今の自分」は○○が好きだから、将来は△△になりたいな。                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     将来の夢に向けて、どんなことに取り組むのがよいか。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     「今の自分」から「未来の自分」を想像していこう。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     「今の自分」のすきが「未来の自分」につながっているだろう。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     「未来の自分」にはどんなことが起こるだろう。                 </div> </div>	◆「未来の自分」の姿について、「今の自分」と比べて想像できるようにする。
<b>「なりたい自分」を整理したことを交流する。</b>		
4. 「なりたい自分」について整理したことを、友だちと交流する。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     友だちが考えていることから、新たな見方や考え方を知った。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     友だちに話すことで、整理できなかったことを整理できた。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">                     次は、これから「なりたい自分」に向けてすべきことを考えたいな。                 </div>	○友だちと交流することで、「今の自分」の見方・考え方を広げることができる。
<b>ふりかえり</b>		
5. 本時の学習を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     自分で整理したことを友だちに話して、より「なりたい自分」について見通しが持てた。                 </div>	○今後の活動の見通しをもつことができる。

「第7次 第1時」(2月5日)は省略

6. 前時「第7次 第2時」(2月6日)の目標

○「今の自分」から未来の「なりたい自分」に向けて、自分の人生を想像して「My Street」を作成することができる。(主体的実践力)

7. 前時「第7次 第2時」の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価 (○) 支援 (◆)
1. 今までの学習をふりかえる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">この前の時間には、「未来の自分」の姿を想像したよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分の「好き」を「未来の自分」につなげたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「今の自分」からどのような生き方をすれば、「未来の自分」につながっていくのだろう。</div>	◆これまでの未来ノートや未来タイムの記述を共有し、本時の活動内容を焦点化する。
<b>「未来の自分」の姿を想像して、「My Street」を作成しよう</b>		
3. 「未来の自分」の姿を想像して、「なりたい自分」への道を表す「MyStreet」を作成する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「未来の自分」になるまで、どのようなことが起きるかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「未来の自分」が生きる社会はどのようなになっているかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">どんなことを大切に生きていきたいかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">将来の夢は○○だから、～のことを学びたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">▽▽には、○○と出会うっていたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">□□に、○○に行きたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">働いてお金を稼いだら、○○を買いたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○○になって働きたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">もし、夢がかなわなかったら、どんなことをしているだろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">未来の社会は、今の社会と変わっていることはないだろうか。</div>	◆「未来の自分」の姿を、「今の自分」から想像できるようにする。 ◆今の社会と変わっている点も想像できるようにする。
<b>作成した「My Street」を見せ合って交流する。</b>		
4. 作成した「My Street」を見せ合って、友だちと交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">友だちに意見を言ってもらって、違う視点に気づくことができた。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">友だちが考えていることから、新たな見方や考え方を知った。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">未来の「自分の姿」がはっきりしてきたな。本当に「未来の姿」に使付けるか不安だ。</div>	○友だちと交流することで、「今の自分」の見方・考え方を広げることができる。
<b>ふりかえり</b>		
5. 本時の学習を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">次は、いろいろと起こるだろうことも予想して、「My Street」の違う道を考えよう。</div>	○今後の活動の見通しをもつことができる。

8. 本時「第7次 第3時」の目標

- 前時に作成した「My Street」の違う道を考えることで、起こるであろうことを位置づけたり、「未来の姿」を価値付けたりして、「未来の自分」についての見方・考え方を広げることができる。(創造的実践力)

9. 本時「第7次 第3時」の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価 (○) 支援 (◆)
1. 今までの学習をふりかえる。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     前の時間に、「My Street」を作って、「なりたい自分」について考えることができた。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     友だちにアドバイスをもらったり、友だちの「My Street」を見たりして、「未来の姿」を広げることができた。                 </div> </div>	◆前時に作成した「人生ゲーム」をもとにふりかえり、本時の活動内容を焦点化する。
<b>さまざまな「未来の自分」の姿を想像して、「My Street」の道を考えよう</b>		
3. さまざまな「未来の自分」の姿を想像して、「なりたい自分」の道を考える。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     もし、予想とは違うことが起きたら、「未来の自分」はどのようになるかな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     未来の社会はどのように変わっているだろう。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 100%;">                     将来の夢は○○だけれど、もしもうまくいかなかったらどうしよう。                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     「好き」なことからつながる仕事は、他になにか。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     もしも、○○で違うことが起こったらどうだろう。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     今の自分が苦手なことが、もし「好き」になったらどうだろう。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     未来の社会が○○になったらどうするだろう。                 </div> </div>	◆「未来の自分」の姿について、様々な観点から「今の自分」がどのようになるかを想像できるようにする。
<b>作成した「My Street」を見せ合って交流する。</b>		
4. 新たな道を作った「My Street」を友だちと交流する。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     友だちに意見を言ってもらって、違う視点に気づくことができた。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">                     友だちに話すことで、不安だったことでも自信が持てた。                 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 100%;">                     次は、作った「My Street」で遊んでみたい。                 </div>	○友だちと交流することで、「今の自分」の見方・考え方を広げることができる。
<b>ふりかえり</b>		
5. 本時の学習を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100%;">                     自分で広げた「未来の姿」を想像すると、楽しかった。また、いろいろな見方や考え方を知ることができた。                 </div>	○今後の活動の見通しをもつことができる。

「第5次 ワークシート」

「様々な人の話を聴いて、思ったことや考えたことを交流しよう。」

6年 未来ノート( 月 日) 3A①

様々な方から聴いた話をまとめ、これからの課題を考えよう

6年 組 番( )

◎ これまでにかかった話をまとめよう。

① だれから、どんなことをうかがったか思い出そう。

② ①からどんなことを学んだのか、書きだそう。

③ これから取り組みたいことを書こう。

「第6次 第1時 ワークシート」

「なりたい自分」を考えよう。

6年 未来ノート( 月 日) 3A②

「なりたい自分」を考えよう

6年 組 番( )

◎ 自分はどんな人になりたいのか、考えを出して整理しよう。

「第6次 第2時 ワークシート」(前々時)  
「なりたい自分」を考えよう。

6年 未来ノート( 月 日) 3A③ 6年 組 番( )

**「未来の自分」を想像しよう**

◎ 想像した「未来の自分」から、そうなりたい理由や、視点や立場を変えて考えたことを書き出そう。

未来タイムカード

未来タイムカード No.( ) ( )月( )日 6年( )組( )番 名前( )

★大きな目的[ ]

今日の活動の中で一番価値のあった学び、活動	大きな目的に向けて、次したいこと、すべきこと
自由記述(感想、気づき、疑問など)	



